

## アンケートにみる口もとの美意識

歯、歯並び、口臭、プロフィール（横顔）、スマイル（微笑）などの美しさについて、現代人はどんな意識をもっているのだろう

女性は男性よりも全般的にこだわりが強い



見られる立場になかった男性はその美意識の向上が迫られる

1989/5/31  
ポーラ文化研究所

（問合先 村澤）

## はじめに

昨年、「先進歯科国際シンポジウム」が開かれ、最近の歯科の、特に審美に関する現状について傍聴するチャンスをいただいた。その発表の中で面白かったのは、アメリカの審美歯科と日本との美意識が数段の差の違いとしてはっきり感じられた点である。

このシンポジウムは歯科医、歯科技工士の方々を対象に最新の歯科技術や審美に対する考え方などを国際的なレベルで紹介しようとする企画で、ドイツとアメリカからそれぞれの国を代表するドクターを招いて、2日間行なわれた。

アメリカからの発表は、アメリカ審美歯科学会長のI.スマイゲル博士が招かれ、「審美歯科とはなにか」をスライドを使って熱弁された。具体的な症例の中でびっくりしたのは、歯の美に対する感覚のレベルの高さである。

例えば、ある女性で顔の中で歯を除いてほかの部分はすべてフェミニンさが感じられるのに、歯にはそれがない。だから、歯の形や色などを変えて顔全体でフェミニンらしさを出すためにこのような技術を使って直した、というように。

このような患者の要求に対して、日本ではそれ以前の以前とも言うべき、まずは人並に歯並びを近付けることがメインであるため、術前の歯並びががたがたの写真とふつうになった写真ばかり見せられる。決してきれいではない。アメリカの症例の術前が日本の術後、あるいは2、3回の術後のイメージがあるので、説明なしで見せられるとどこが問題なのかすぐには理解できない例が多い。それに全体にきれいで、日本人の症例のように歯並びを拡大した写真から感じる不気味さ、異様さはほとんどない。

この違いは歯科の審美的レベルの差と言うより、患者、すなわち日本とアメリカの社会の審美観の違いである。

そう思ってテレビや雑誌の顔写真や通勤途中の人々の口もとを見ると、今まで以上にその意識の違いを認識させられる。この違いは日本人の歴史的文化背景によることなのでしかたないとは言え、国際化社会などといわれる現在、無関心で入られなくなってしまった。

そこで、男女会社員と主婦を対象にアンケートを実施し、日本人の美意識の一端を探ることとした。ただし、今回の調査のサンプリングは都内の会社に勤務する男女従業員と、スイミングクラブを訪れた女性たちであるため、結果を一般化しすぎてはいけないが、一つの傾向は出ていると判断している。

## 調査概要

1. 目的 口もと（歯、歯並び、口臭、プロフィール（横顔）など）の美しさについてどのくらい気を使っているかを探る。
2. 調査対象者 男性：首都圏の会社に勤めるサラリーマン  
女性：都内スイミング・クラブに来訪した女性および首都圏の会社に勤めるOL
3. 調査方法 アンケート留置法  
回収結果 男性195人 女性309人 無効3人
4. 調査期間 3月中旬
5. 対象者属性 男性は20代から50代の会社員を、女性は20代から40代の主婦と会社員を中心とした構成であった。

年令別職業別分布（男性）

	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
会社員	36 19%	79 42%	52 28%	19 10%	1 1%	0	187 100%
その他	0	0	1	1	0	0	2
DK	0	0	0	0	0	6	6
計	36 18%	79 41%	53 27%	20 10%	1 1%	6 3%	195人 100%

職業別分布（女性）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
主婦	0	17 12%	75 55%	24 18%	21 15%	0	0	137 100%
会社員	2 2%	57 61%	19 20%	13 14%	3 3%	0	0	94 100%
パート	0	0	2	1	2	0	0	5
自営他	1	1	7	3	1	0	0	13
無職	0	1	10	3	1	2	0	17
DK	3 9%	17 50%	8 24%	3 9%	3 9%	0	3 9%	34 100%
計	11 4%	94 30%	121 39%	47 15%	30 10%	3 1%	3 1%	309人 100%

## 結果の要旨

### I 「歯」についての美意識

- 男性は歯の白さに、女性は治療後の見せ方（金属冠を見せないなど）を気にする。「八重歯」「歯並び」に対する美意識は女性の方が高い。
- 磨く回数は男女とも半数以上が1日2回、1日3回以上の女性は3人に1人で、男性の3倍。

### II 「口臭」について

- 男女とも80%以上が「気になる」が、その程度は女性の方が高い。
- 「気になる時」、男性は「歯を磨く」か「ジンタンやガム」を使用するが、女性は「歯を磨く」人が多い。
- 「においの強いものを食べ」るとき、男性は「ガムなどをかんでにおいを消そうとする」が、女性は「歯を磨く」。食べても「何もしない」男性は2割近くいる。「気になるから食べない」「人と会うときは食べない」人は女性に多く、3人に1人。

### III 女性の喫煙はどう見える？

- 「女性のタバコの吸い方が気になる」人は、男性で4分の3、女性で3分の2。

### IV 「口紅」の美

- 男女とも半数前後が、「口紅は女性のたしなみ」と考えている。
- 口紅の差し方で「口角の入れ方に気を使う女性は3人に1人。
- 口紅の似合うタレントを聞くと、化粧品会社の口紅のコマーシャルに登場するタレントがトップに出てくる。

### V 「あなたの口もと」の魅力は？

- 「わからない」人が6割以上（ないも含む）。男女とも残りの半数が「正面」顔を魅力的としている。

### VI 顔の美

- 「写真を撮るときの顔の向きと口もと」は、男性で覚えている人の80%が「顔は正面」を向くが、女性では正面を向く人は60%に減り、「斜め」横を向く人は40%と男性の2倍となる。その時、口を閉じる人は男性で70%、女性で55%で、「歯を見せて微笑する」人は女性が多い。
- プロフィール（横顔）における鼻と口と頬の関係は、女性の方が、口がより引っ込んだプロフィール（横顔）を好む傾向にある。

### VII 笑いと微笑みの美意識

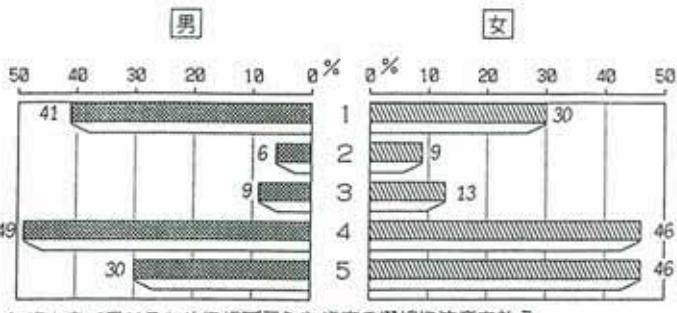
- 「大きな口を開けて笑うことや「大声を上げて笑うこと」に抵抗はないが、「歯茎が出るのはいやだ」
- 微笑や笑顔のきれいなタレントは、女性が選ぶと「浅野温子さん」、男性が選ぶと「小泉今日子さん」。

### VIII いろいろな意見？

- 「口を開けて笑うとき、手を口もとにもっていく」人は男性で10%、女性で51%。女性の半数が「口もとに手をもっていく」。
- 「食事中のくちゃくちゃ音を立てて食べるののはいやだ」と思う人は、男性で約3分の2、女性で4分の3。

## I 「歯」に対するの意識調査

図1 「歯」の美 (%)



1. 歯を白く見せるために歯ブラシや歯磨きの選択に注意を払う  
 2. 歯並びがよくないので矯正した（または矯正している）  
 3. 歯並びが悪いので矯正したい  
 4. 歯の色が悪いので白くしたい  
 5. 虫歯治療の後をもっときれいに、例えば金属を直接見せないようにしたい

46%に対して男性が30%となる。男性はどちらかというと、白い歯にこだわる傾向が見られるのに対して、女性は虫歯治療の後をより自然にみせたいなど積極的な意識がうかがわれる。

また、回答数は少ないが、この調査では「矯正した」（している）人は男性で6%、女性で9%おり、「矯正したい」人は男性で9%、女性で13%いた。いずれも女性が高い支持率を示している。

無回答者（ここでは「ふだんから気にしている」とことがないと判断できる。中には「なし」と欄外に明記している人もいた）が、男性で29%（57名）、女性で23%（70名）ほぼ4人に1人がいた。

図2 「八重歯」はよいか (%)

	1	2	3	4	5
男	14	38	30	15	
女	5	18	39	28	11

1. 大変気になり、よくないと思う  
 2. あまりよくないと思う  
 3. 人によってかわいいと感じるが、あまりよくないと思う  
 4. 特に気にならないし、かわいいと思う  
 5. 全く気にならない

図3 「歯並び」を気にするか (%)

	1	2	3	4	5
男	6	7	4	50	33
女	5	8	42	44	

1. 全く気にしない  
 2. 歯並びが悪くてもあまり気にならない  
 3. 八重歯が似合う人もいるから気にならない  
 4. 歯並びが悪いことは好ましいとは思わないが、直すほどではない  
 5. 歯並びが悪いことは好ましくないので、直したほうがよい

は「気にならない」とする女性は、男性の17%よりやや低めの14%であった。

## a 「歯」への気遣い

「歯について、虫歯予防など歯の健康以外に、ふだんから気にしていること」を5段階に分けて聞いてみた。

回答者は男性で71%、女性で71%、ほぼ4人に3人が「ふだんから気にしていること」があるとしている。女性の回答者は「歯の色が悪いので白くしたい」が1位で、「虫歯治療の後をもっときれいに、例えば金属を直接見せないようにしたい」「歯を白く見せるために歯ブラシや歯磨きの選択に注意を払う」と続く。

男性では女性と同様「歯の色が悪いので白くしたい」が1位だが、「歯を白く見せるために歯ブラシや歯磨きの選択に注意を払う」が2位となり、「虫歯治療の後をもっときれいに、例えば金属を直接見せないようにしたい」は3位になる。

男女間で差が大きい項目は「虫歯治療の後をもっときれいに、例えば金属を直接見せないようにしたい」で女性の46%に対して男性が30%となる。男性はどちらかというと、白い歯にこだわる傾向が見られるのに対して、女性は虫歯治療の後をより自然にみせたいなど積極的な意識がうかがわれる。

## b 「八重歯」はよいか

「八重歯」については、「大変気になり、よくないと思う」「あまりよくないと思う」「人によってかわいいと感じるが、あまりよくないと思う」など「よくない」と感じている人は男性で55%、女性では61%で、女性の方が「よくない」と思う人が多い傾向にある。

## c 「歯並び」を気にするか

「歯並び」についてのみ聞いてみると、男性では「歯並びが悪いことは好ましいとは思わないが、直すほどではない」が50%と半数を占め、積極的に「直した方がよい」と考える男性は33%、3人に1人である。残りの17%が「全く気にしない」または「気にならない」となる。

一方女性は、積極的に「好ましくないので、直した方がよい」が1位、44%で、男性で1位で半数の支持を集めていた「歯並びが悪いことは好ましいとは思わないが、直すほどではない」は2位、42%となり、女性の歯並びへの関心の高さがうかがわれる。残りの「全く気にしない」または「気にならない」とする女性は、男性の17%よりやや低めの14%であった。

図4 「歯を磨く」回数 (%)

	1	2	3	4	5	6
男	23	7	54	15		
女	5	14	57	30	4	

1.全く磨かない 2.朝1回 3.夜1回 4.朝晩、計2回 5.朝晩晩、計3回  
6.4回以上

図5 「歯医者」さんは歯の病気の治療だけ？ (%)

	1	2	3	4	5	6
男	90			6	3	4
女	91			5	3	1

- 1.虫歯など歯の病気を治療するところ
- 2.虫歯など歯の病気を予防するところ
- 3.歯をきれいに美しくしてくれるところ
- 4.特に関係ない

## II 「口臭」

図6 「口臭」を気にするか (%)

	1	2	3	4	5
男	32		56	4	7
女	42		42	7	8

1.大変気にする 4.あまり気にしない  
2.少し気にする 5.全く気にしない  
3.どちらでもない

平安時代に描かれた『病草紙』にお歯黒をした「口臭のする女」が登場することからも、決して新しい現象ではないが、男女とも8割以上が「気にする」現代はにおいに関してかなり過敏になっているようにも思える。

図6-1 「口臭」が気になるのはどんな時？ (%)

	1	2	3
男	25	10	65
女	35	19	46

1.いつも 2.出かける時 3.人と会う時

図6-2 気になる時に何をする？ (%)

	1	2	3	4	5
男	5	36	35	24	
女	8	66	15	11	

1.気になるので洗口液を使用している  
2.歯をよく磨く  
3.気になるので、ジンタンやガムなどを使用している  
4.気になるが、なにもしていない

### d 「歯を磨く」回数

「1日に歯を磨く」回数は、男女とも、「朝晩、計2回」が54%、57%と半数以上を占めるが、男性では「1回」以下が女性の3倍以上の31%、3人に1人近くいるのに対して、女性では「3回」以上が男性の倍の34%もいる。さらに「4回以上」をみると、女性で4%、男性で1%以下といかに女性に神経を使っている人が多いのかがわかる。

もちろんこの歯を磨く理由は、後項で述べる「口臭」と切っても切れない関係にあることは言うまでもない。

### e 「歯医者」さんは歯の病気の治療だけ？

最近、歯のエスティック（汚れを取ってきれいにするだけでなく、歯の色や形を変えたり、歯並びをよく見せたりすること）が注目されている。そこで、「歯医者さん」に対する意識、思いを聞いてみた。

回答は男女とも9割以上が「虫歯など歯の病気を治療するところ」と、従来通りの回答を得た。それ以外の、「虫歯など歯の病気を予防するところ」という積極的な意識は5%前後に過ぎないし、「歯をきれいに美しくしてくれるところ」という認識は、女性で3%、男性で2%と低い。

### a 「口臭」を気にするか

男性で「大変気にする」積極的肯定派は32%、「少し気にする」消極的肯定派は56%で、肯定派全体では88%と9割近くが気にしている。

女性では「大変気にする」積極的肯定派は42%、「少し気にする」消極的肯定派は42%で、肯定派全体では84%と男性よりやや低いように思えるが、積極的肯定派は女性の方が10%高い結果であり、「大変気になる」女性の方が男性より多いことがわかる。

前問で、「気にする」人、男性で88%、女性で84%の肯定派に「どんな時」かを聞いてみた。

男性では「人と会うとき」が65%と3分の2近くおり、「いつも」は4分の1に過ぎない。女性では男性同様、第1位に「人と会うとき」がくるが、46%と男性より少ない。しかし、「いつも」気にする人は男性より10%多く、35%と3人に1人以上いる。

### c 気になる時に何をする？

さらに「気になる場合、どんなことを」するかについて聞くと、男性と女性では次のように行動が異なることがわかった。

男性では、「歯をよく磨く」「ジンタンやガムなどを使用している」が36%、35%とほぼ同数で、両方で約3分の2以上いる一方、「気になるが、なにもしていない」が24%

%と4人に1人もいる。最近話題の「洗口液を使用している」人は5%に過ぎない。

女性では「歯をよく磨く」が66%、単独で3分の2を占め、男性の倍近くいる。「歯を磨く」回数の回答とも対応しているようだ。「ジンタンやガムなどを使用している」は15%で、男性の半数以下である。また、「気になるが、なにもしていない」人は11%で10人に1人と男性に比べて少ない。また、「洗口液を使用している」人は9%で男性より多い。

図7 「においの強い食べ物」は? (%)

	1	2	3	4	5	6
男	33	21	18	23		
女	8	24	34	34	26	

- 1.においが気になるからできるだけ食べない
- 2.食べたらガムなどをかんでおいを消そうとする
- 3.食べたら歯を磨く
- 4.食べたら洗口液などでおいを取る
- 5.特に何もしない
- 6.人と会う時は食べないように気をつける

男性で26%、4人に1人、女性で34% 3人に1人である。

全体的に「口臭」に関しては、女性の方が常に気にしてそのための対策も積極的に行なっているようだ。

d 「においの強い食べ物」は?

「においの強いものを食べ」るときの態度は、食べたらなんらかの処置を行なう人が男性で56%、女性で61%いる。その内容は男性と女性とでは多少傾向が違い、男性が「食べたらガムなどをかんでおいを消そうとする」人が多いのに対して、女性では「食べたら歯を磨く」人の方が多い。「洗口液などでおいを取る」人もわずかだがいる。

また、食べても「特に何もしない」人が男性では18%もいるが、女性では4%に過ぎない。

「人と会う時は食べないように気をつける」または「においが気になるからできるだけ食べない」と我慢する人は

### III 女性の喫煙はどう見える?

最近、女性の喫煙が増えている(ボーラ文化研究所調査の「女性の意識と行動'87」によれば首都圏に住む18-65歳の女性の6人に1人が喫煙している)が、健康の問題を除いて、女性のタバコの吸い方(吸うしぐさや煙の吐き方など)で「気になること」が「ある」かどうかを聞いてみると、男性で74%、約4分の3の人、女性では66%、3分の2の人が「ある」と答えている。

その内容を3つの中から選んでもらうと、「吸い方がきれいではなく、いやだった」が男性で61%、女性で61%おり、「気になった」人の6割が「吸い方」に対する美意識(「きれいではない、いやだ」という意味で)から答えている。また、「いつも気になり、いやだと思う」人が男女とも3分の1以上おり、タバコを吸うこと自身に対する意識からそう答えているとも読める。

図8 「女性のタバコの吸い方」が気になる? (%)

	1	2
男	74	26
女	66	34

1.ある 2.ない

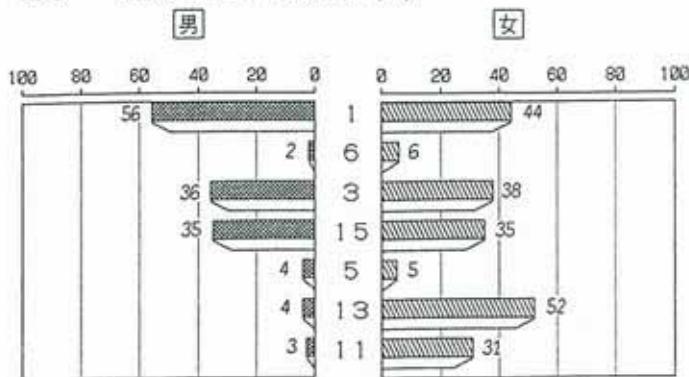
図8-1 どんな点が気になる? (%)

	2	3
男	61	38
女	61	35

- 1.吸い方が魅力的だつた
- 2.吸い方がきれいではなく、いやだつた
- 3.いつも気になり、いやだと思う

## IV | 口紅 | の美

図9 「口紅」についての意見 (%)



1. 口紅は女性のたしなみであるから、いつもきちんとつけたほうがよい
6. 唇の厚さや形があまり気に入らないので、できるだけ口紅を塗るようにしている
3. 口紅ははっきり形よく塗ったほうがきれいだ
15. 口紅の色は自然に近い色がよい
5. 口紅の色はハデで目立つ方がよい
13. 口紅をつける時、筆を使う
11. 口紅を塗るとときは両端の口角の入れ方に気を使う

図10 「口紅」は何？ (%)

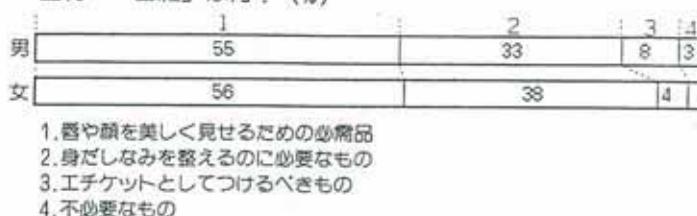
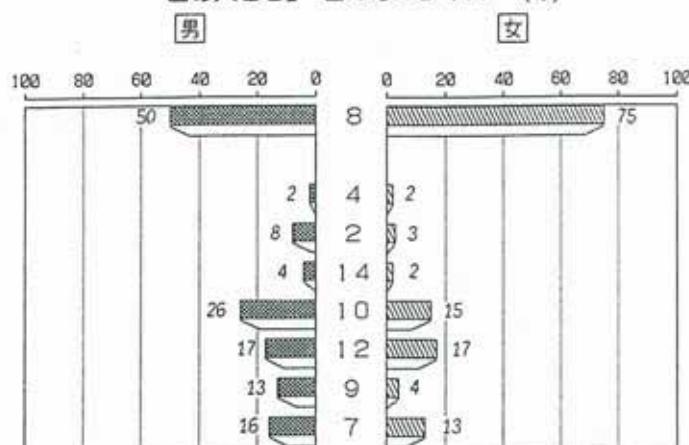


図11・12 「唇が荒れた時」どうする？(上)、  
「口の大きさ」「唇の厚さ」(下) (%)



8. 唇が荒れた時はリップクリームなどを塗る
4. 大きな口がすてきだ
2. 口が大きい人にアピール
14. あちよほ口がすてきだ
10. さい口は上品である
12. 薄い口に冷たさを感じる
9. 薄い唇にセクシーさを感じる
7. 唇が前に出ているのはよくない

### a 「口紅」についての意見

「口紅は女性のたしなみであるから、いつもきちんとつけたほうがよい」という意見については、男性で56%、女性で44%と半数近くの人が「口紅は女性のたしなみ」と考えているようだ。「唇の厚さや形があまり気に入らないので、できるだけ口紅を塗るようにしている」という修整メークアップ的な考えは女性で6%と低い。

「口紅ははっきり形よく塗ったほうがきれいだ」という意見には男性で36%、女性で38%と男女とも3人に1人以上がそれを支持している。

口紅の色は男性女性とも35%、3人に1人が「自然に近い色がよい」と答えている。しかし、「口紅の色はハデで目立つ方がよい」については男性で4%、女性で5%とはどんとど支持されない。

口紅のつけ方では、「口紅をつける時、筆を使う」女性は52%と半数おり、「口紅を塗るときは両端の口角の入れ方に気を使う」女性は31%いる。

### b 「口紅」は何？

さらに「あなたにとって口紅は」何かを一つ選んでもらうと、「唇や顔を美しく見せるための必需品」と思う人が男性で55%、女性で56%と、半数以上いる。次に「身だしなみを整えるのに必要なもの」「エチケットとしてつけるべきもの」が合わせて男女とも42%で、「不必要なもの」と思っている人は3%以下であった。

### c 「唇が荒れた時」どうする？

冬になると唇が荒れやすくなるが、「唇が荒れた時はリップクリームなどを塗る」人は、男性で50%、女性で75%と4人に3人で、男性でも半数が「リップクリーム」をしていることになる。

### d 「口の大きさ」「唇の厚さ」

次に口の大きさや唇の厚さに対する意見を聞いてみた。「大きな口がすてきだ」は男女とも2%とほとんど支持されていない。同様に、「口が大きい人にどんな欲を感じる」とか、「おちょぼ口がすてきだ」については男女とも10%以下だった。

逆に、「小さい口は上品である」という意見に対しては、男性で26%、女性で15%の支持を得ている。

唇の厚さに対する印象は、「薄い唇に冷たさを感じる」人は男性で17%、女性で12%、「厚い唇にセクシーさを感じる」人はさらに低く、男性で13%、女性で4%であり、唇の厚さに関してあまり強い印象を感じないようだ。

表1 「口紅の似合う女性タレント」は？

	女性(145/309人)	男性(106/195人)
第1位	中山美穂(32)	中山美穂(19)
第2位	今井美樹(29)	中森明菜(10)
第3位	浅野温子(26)	M. モンロー(8)
第4位	松坂慶子(24)	今井美樹(6)
第5位	中森明菜(16)	浅野ゆう子(5)
第6位	小泉今日子(12)	吉永小百合(5)

#### e 「口紅の似合う女性タレント」は？

「口紅の似合う女性タレント」あるいは「芸能人」を2名ずつ選んでもらった結果の5位までを示すと、左の表のようになる。

回答率は女性は47%、男性は54%で半数近くが無記入(1名もない)であった。おそらく、ふだんから意識をしていないためであろう。また、似合うとした女性のあげ方は男性に比べ、女性の方が集中する傾向にあるようだ。つまり、女性の選び方は小数の人に集中しがちであるが、逆に男性はいろいろな人を選ぶため、選ばれた人の得票数が全体に低くなっている。

具体的な名前を見ると、「中山美穂」さんが男女とも1位で、口紅の宣伝広告に採用されている(調査が3月

で春のCM、広告が目につく頃)。女性で2位の「今井美樹」さんも昨年登場しており、化粧品の宣伝が影響を与えると判断できる。票数が少ないため、詳細の議論はできないが、年代による差は見られる。たとえば、「M. モンロー」「吉永小百合」さんには、30、40代に多く支持者がいる。

男女共通に出てくる人は「中山美穂」さん、「今井美樹」さん、「中森明菜」さんの3人である。

## V | あなたの「口もと」の魅力は？

自分の顔で、特に、あなたの口もと(鼻から下)の魅力的な角度についてどの程度意識しているか、聞いてみた。

図13 「あなたの口もと」の魅力はどの角度？ (%)

	1	2	3	4	5	6
男	18	5	9	3	45	63
女	20	6	5	3	4	64

1.正面 2.斜右前 3.斜左前 4.右横 5.左横 6.わからない

1の人のなかでそれぞれの割合を見ると、「正面」が男性で49%女性で56%と半数を占める。斜め横は40%、31%。真横に関しては12%、14%と低い(全体に対しては4%、5%)。

## VI 顔の美

図14 写真を撮る時の顔の向きと口もと (%)

	1	2	3	4	5
男	10	4	41	17	28
女	22	10	21	25	22

- 1.顔は少し斜めにするが、口は閉じる
- 2.顔を少し斜めにして、歯を見せて微笑する
- 3.顔は正面にするが、口は閉じる
- 4.顔を正面にして、歯を見せて微笑する
- 5.はっきり憶えていない

は19%に過ぎない。

一方、女性では男性で1位の「顔は正面にするが、口は閉じる」は27%で3位で、男性で2位の「顔を正面にして、歯を見せて微笑する」が32%で1位を占める。2位には「顔は少し斜めにするが、口は閉じる」が28%で入る。女性で正面を向く人は59%で、男性に比べて20%ほど低い。逆に「斜め」横を向く人は41%と男性の約2倍多い。

次に「口を閉じる」か「歯を見せて微笑する」かを見てみよう。男性では70%が「口を閉じる」で、残りの29%が「歯を見せて微笑する」になる。女性では「口を閉じる」が男性に比べて低く、55%で、「歯を見せて微笑する」は逆に増えて45%となる。

#### a どう自分の顔を写すか？

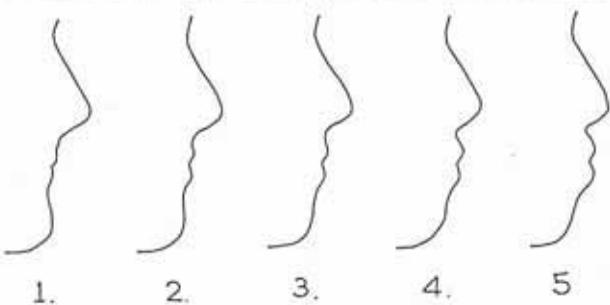
顔に対する意識についてさらに、「旅行先などで写真を取ってもらう時」を例として、顔の向きと歯の見せ方について聞いてみた。「はっきり憶えていない」人が、男性で28%('不明'を入れると31%)、女性で22%(同じく24%)と4人に1人近くいる。

はっきり覚えている人の中では、男性は「顔は正面にするが、口は閉じる」が56%で1位を占め、続いて「顔を正面にして、歯を見せて微笑する」が24%で、正面を向く人は80%、5人に4人いることになる。「斜め」横を向く人は

男性が「正面」を向いて「口を閉じて」いる人が多いという像が描けるのに対し、女性は男性ほど明確な方向がなく、魅力的かどうか聞かれるとはっきりと回答できなくても、写真に撮られる時は、自分なりにポーズをつくっている像が浮かび上がってくる。

図15 好ましいプロフィール——鼻と口と顎の位置関係(%)

	1	2	3	4	5
男	17	35	41	5	45
女	31	27	38	3	3



#### b 好ましいプロフィール(横顔) — 鼻と口と顎の位置関係

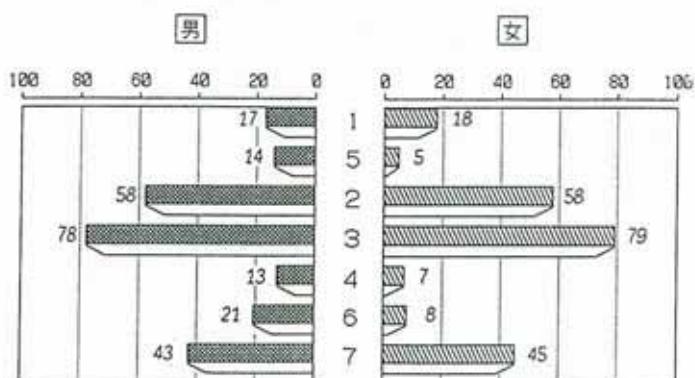
次の図の中で、あなたが1番よいと思われるプロフィール(横顔)を選んでもらった。言葉で説明すると、3が鼻の先端と顎の先端(顎:おとがい)を結んだ線上に唇の先がくる図であり、2、1にいくに従い、口が引っ込み、逆に4、5にいくに従い、口が突出しているように描かれている。

その結果、男性で3が41%と一番多く、2が35%、1が17%と続く。女性では男性と同じく、3が38%で1位だが、2位と3位で逆になり、1で31%、2が28%と続く。

男女とも唇が突出する方向を嫌う傾向にあるが、引っ込み方には男女差が見られる。男性より女性の方がより唇が引っ込んだプロフィール(横顔)を好む傾向にある。女性はより欧米人志向が強いということか。

## VII 笑いと微笑みの美意識

図16 笑う時の口は? (%)



- 1. 大きな口を開けて笑うのはきれいではない
- 5. アメリカ人の大声を上げて笑う笑い方にはついていけない部分がある
- 2. 笑った時、歯茎がでるのはいやだ
- 3. 自然な微笑みが好きだ
- 4. 能面的と外国人から言われる日本人の微笑みははつきりしない表情だと思う
- 6. 日本人の微笑みは素敵だ
- 7. つくり笑いはできたら避けたい

ると、「イエス」が男性で21%、女性で8%と全体的にはあまり「素敵」とは思っていないようだ。

#### b 「微笑み(スマイル)、笑顔」のきれいなタレントは?

芸能人、タレントで「微笑み(スマイル)、笑顔」のきれいな人、あるいは魅力ある人を選んでもらった結果は、次の表になる。

回答率は女性で42%、男性で50%と、「口紅の似合う」人を選んでもらった時より多少低めである。

女性では「浅野温子」さんが1位で、2位に「小泉今日子」さん、3位に「今井美樹」さんが入る。

表2 「微笑み（スマイル）、笑顔」のきれいなタレントは？

	女性(130/309人)	男性(97/195人)
第1位	浅野温子(19)	小泉今日子(11)
第2位	小泉今日子(18)	吉永小百合(6)
第3位	今井美樹(16)	榎原郁恵(5)
第4位	大原麗子(14)	沢口靖子(5)
第5位	沢口靖子(10)	富田靖子(4)
第6位	吉永小百合(10)	浅野ゆう子(4)

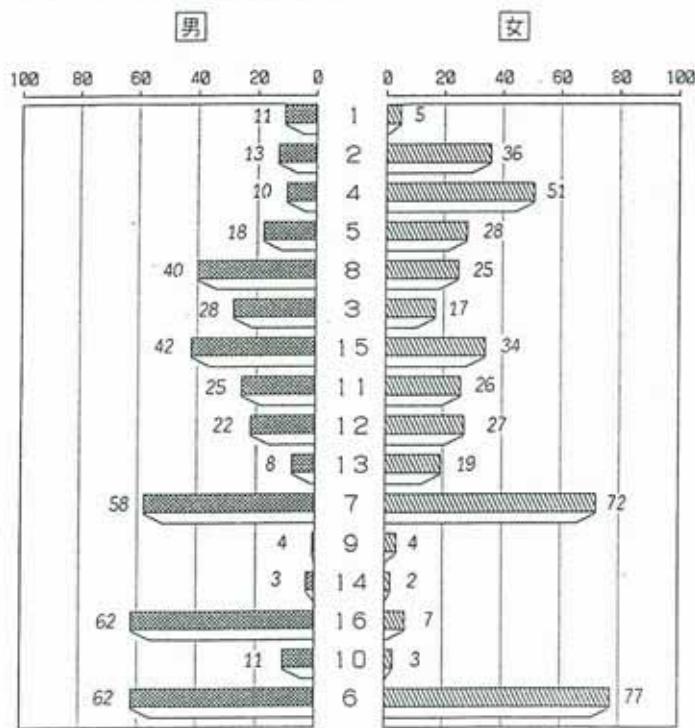
男性では「小泉今日子」さんが1位となり、2位以下と差が大きい。

男女共通に出てくる人は「小泉今日子」さん、「吉永小百合」さん、「沢口靖子」さんの3人である。「微笑み（スマイル）、笑顔」のきれいに対する美意識は、「口紅の似合う」人と比べてみると鮮明になってくる。特に、「口紅の似合う」人で支持が高くてこの項目では出てこない人を見ると、八重歯が目立ち歯並びの悪い人（笑ったときに歯のよう見える）やさし歯が目立つ人（技術的にはもっときれいにできると思うが）はここでは登場しないようだ。その点で、かなり厳しい目を持って選んでと思われる。

いる

## VIIIいろいろな意見？

図17 いろいろな意見？ (%)



- 1.ヒゲソリ後が青いのは男らしくてよい。
- 2.ヒゲを伸ばした人は嫌い。
- 3.口を開けて笑うとき、手を口もとにもっていくことがある。
- 4.人のそばに行つたときや人と対面して話をするとき、意識的にまだは、無意識のうちに手を口もとや鼻に持っていくことがある。
- 5.えくぼに魅力を感じる。
- 6.女性の口もとのほくろは色っぽくてよい。
- 7.見かけやルックスも大事である。
- 8.歯のエステ（歯や歯並びをなおして美しくする）に関する情報が少ない。
- 9.もっと日本人は歯並びに気をつけるべきだ。
- 10.歯のエステをして歯や歯並びをきれいに美しく見せたい。
- 11.歯の治療した後を金属冠でキラキラさせるのはできたら避けたい。
- 12.美容整形して口もとをかっこよくしたい。
- 13.あまり口もとに気に使う必要はない。
- 14.唇に口紅やクリームを塗るのは好きではない。
- 15.将来、男性も口紅をつけるようになる。
- 16.食事中、口を開いて歯のように頬られたので、くちゅくちや唇を立てて食べるのいやだ。

**ヒゲについて。**「ヒゲソリ後が青いのは男らしくてよい」とする人は男性で11%、女性で5%と青さが嫌われている。「ヒゲを伸ばした人は嫌い」に関しては男性で13%に対して、女性はその2倍以上の36%が「イエス」と回答している。昨年の「アンケートに見る現代の体毛観」の結果（本誌19号参照）と一致し、濃いヒゲや伸ばしたヒゲが女性に嫌われる傾向にある。

口もとのしぐさと言えば、「口を開けて笑うとき、手を口もとにもっていくこと」があるが、男性では10%が「イエス」としているに過ぎない。一方女性では51%と半数の人が「手を口もとにもっていくこと」があると答えている。

また、似た質問で「人のそばに行ったときや人と対面して話をするとき、意識的にまたは、無意識のうちに手を口もとや鼻に持っていくことがある」とする人は男性で18%、女性で28%いた。伝統的に顔を隠す文化を持っている日本人にとって、手を口もとにも持っていくしぐさはかつては当たり前だったが、女性の間で未だに残っていることになる。「表情が能面的」と外国人から言われるだけでなく、ここ数年、「笑った時に手を口もとにも持っていくしぐさ」が日本人の特徴としてテレビなどでマンガチックに紹介されているに気付かれた方も多いだろう。外国人から見ると、このしぐさが異様に映るようだ。

口もとの美の一つと思われる「えくぼ」「ほくろ」については、「えくぼに魅力を感じる」人は男性で40%、女性で25%で、男性の方がえくぼを意識しているようだ。また、「女性の口もとのほくろは色っぽくてよい」かどうかは「イエス」が男性で28%、女性で17%という結果で、ほくろよりえくぼの方に関心が高い。

さらに外見に対する意見も聞いてみた。「見かけやルックスも大事である」とする男性は42%おり、女性では少し下がって34%となる。

「歯のエステ（歯や歯並びをなおして美しくする）に関する情報が少ない」と感じている人は男女とも25%で、4人に1人が当たる。おそらくこの人たちが「情報を欲しい」と思っている人たちだろう。

さらに、「もっと日本人は歯並びに気をつけるべきだ」については「情報が少ない」とほぼ同じ、男性で22%、女性で21%が支持している。しかし、「歯のエステをして歯や歯並びをきれいに美しく見せたい」という積極的な意見については男性で8%、女性で19%、また、「歯の治療した後を金属冠でキラキラさせるのはできたら避けたい」という意見に対しても、男性で58%、女性で72%と、ここでも女性の意識の高さが表れている。

「美容整形して口もとをかっこよくしたい」という意見には男女とも数%で、口もとに対して美容整形までするべきがないという傾向にある。

けれども「あまり口もとに気を使う必要はない」という意見に対しては、回答者は数%で、ほとんどの人が口もとに無関心ではないようだ。

「唇に口紅やクリームを塗るのは好きではない」については、「好きではない」が男性で5%、女性で7%と低く、男性でも、唇の化粧に抵抗がないようだ。そこで敢えて「将来、男性も口紅をつけるようになる」かどうか聞いてみた結果、男性で11%、女性で3%「イエス」がいた。男性の10人に1人が口紅を付けるようになると思っている。

「食事中、口を閉じて噛むように仕付けられたので、くちゃくちゃ音を立てて食べるのいやだ」については男性で62%、女性で77%と、この16の質問中、最高の値を示した。男性で3人に2人、女性で4人に3人が「音を立てて食べる」のを嫌っている。

## IX 自分の口もとは好き？

図18 自分の口もとは好き？（%）

	1	2	3	4	5
男	15	11	22	3	49
女	18	16	27	6	33

- 1.全体的に気に入っている
- 2.部分的に気に入っている
- 3.気に入らない
- 4.気に入らないので直せれば直したい
- 5.特に意識しない

「唇の厚い」男女はそれぞれその厚さを嫌い、「上の歯が前に出ている」男女はその出ていることを嫌い、そして「鼻の下の長い」男女はその長い点を嫌う傾向にある。

また、「歯並びの良さ」と「好き嫌い」は比例する。つまり「歯並びの良い」人はその良さを好み、「良くない」人はその良くなさを嫌う傾向にあることがわかった。

敢えて嫌いな口もとを合成すると、口が大きく、唇が厚く、上の歯が前に出ており、鼻の下が長く、歯並びの悪い人が浮び上がる。

最後に自分の口もとについての自己認識と好みを全体的な視点からと具体的な部位から聞いてみた。

まず、「あなたは自分の口もとを気に入っている」かどうかでは、全体で一番多いのが、「とくに意識しない」で男性で50%、女性で33%。次に「気に入らない」あるいは「気に入らないので直せば直したい」の計が男性で25%、女性で33%に対して、「全体的に」あるいは「部分的に」「気に入っている」の計は男性で27%、女性で33%である。

続いて具体的な部位について、自己認識と好き嫌いを聞いてみた。主な結果を述べると、（自分で）「口が大きい」（と思っている：以下同じ）女性はその大きさを嫌い、

## X おわりに

今回の調査で、口もとに関する美意識の一断面を探ることができた。全体的な結論を一言で述べれば、「歯」「口臭」「唇の化粧」「写真での顔の撮られ方」など、女性の意識と男性の意識は全体として異なる。言い替えれば、男性よりも女性の方がこだわりが強い。

なぜ、女性の方がこだわりが強いのだろうか。

言うまでもなく、このことは見る見られる関係と切り離すことができないだろう。最近でこそ、やれ「しょうゆ顔」だ、「ソース顔」だと男の顔が取りざたされたり、テレビ番組で「カバーガール」ならぬ「カバーボーイ」が登場したりして、男が見られる存在になりはじめた。しかし、少し前まで男は「顔じゃない心だ」などといわれ、外見を気にすることはよくないとされてきた。

その一方、女性は常に見られる存在として男の視線、社会の視線を浴びてきた。その結果が、化粧、美容、服飾など男性以上に美意識を発達させてきた。そして、女性運動を経て80年代に入り、雇用機会均等法が実施されるようになると、女性の力は相対的に上がり、男女の人口比率などの要因も加わり、選ばれる立場から選ぶ立場に変わってくる。当然、「見られる立場」から「見る立場」へ、加えて「見せる立場」へ転換していくのである。その意味で、女性のこれまでに身に付けた美意識は、積極的な「見る」+「見せる」方向でいっそう研ぎ澄まされていくだろう。

見る立場でしかなかった男性は、何年も前から10代、20代の前半の若い人を中心に、見られる立場を意識している。服飾（D Cブランドものなど）、ヘアスタイル（朝シャンして整える）、男性メークアップや肌の手入れ、さらには体毛を剃るなど、顔やからだに対する美意識は発達しつつあると言ってよいだろうが、全体的には「見られる立場」に、若い人を中心に「選ばれる立場」に変わりつつあるのに、「口もと」に関しては、準備はまだ、と言った状況である。

その意味で、男性にとってしばらくは多難な時代が続くようである。